

財団法人いばらき文化振興財団

[法人の概要]

平成21年7月1日現在

代表者名	理事長 平山 恒夫(非常勤)	県所管部課	生活環境部生活文化課	
所在地	水戸市千波町後川745	電話番号	029-305-0161	
ホームページURL	http://www.icf4717.or.jp	E-mailアドレス	icf-ga2@icf4717.or.jp	
資本金(基本財産)	30,000	千円	設立年月日	平成4年7月17日
主な出資者	出資順位	出資者名	出資額(千円)	出資比率
	1	茨城県	30,000	100.0%
	2			
	3			
	4			
	5			
その他				
設 立 目 的	<p>各種の文化振興事業を行うことにより個性豊かな県民文化の振興を図り、もって国際性豊かな文化の県づくりに寄与することを目的として平成4年に設立された。</p> <p>平成11年からは、茨城県文化福祉事業団の文化部門を統合し、文化芸術に接する機会の提供、県民文化センターの管理運営及びアクアワールド茨城県大洗水族館(以下「大洗水族館」)の運営を行っている。</p>			

[事業の概要]

(単位:千円)

事業名		平成18年度	平成19年度	平成20年度	内 容	
事業1	大洗水族館事業	1,729,637	1,666,905	1,766,483	「茨城の海と自然・世界の海と地球環境」を基本テーマに、観光レクリエーション施設、地域の文化と経済に貢献する施設、海を通じた環境教育現場としての生涯学習施設、自然保護と種の保存に関する実践・研究施設として、「展示・普及・研究」の3つの機能を相互に連動させた魅力ある海の総合ミュージアム施設として運営する。	
	全体事業に占める割合	69.2%	69.9%	72.7%		
事業2	県民文化センター事業	461,464	444,941	422,369	県の文化芸術振興の拠点施設である県民文化センターの運営、施設の維持管理及び使用料徴収事務を行うとともに、食事等の提供、駐車場の管理を行い、利用者への利便とサービスを図る。	
	全体事業に占める割合	18.5%	18.7%	17.4%		
事業3	文化振興事業	308,420	271,309	239,521	個性豊かな県民文化の振興を図るため、文化芸術活動への助成及び文化芸術に接する機会の提供を行うため幅広いジャンルの公演事業を実施する。	
	全体事業に占める割合	12.3%	11.4%	9.9%		
その他事業	事業1~3以外	0	0	0		
	全体事業に占める割合	0.0%	0.0%	0.0%		
全体事業		2,499,521	2,383,155	2,428,373	指定管理者	
全体割合		100.0%	100.0%	100.0%		

< 財団法人いばらき文化振興財団 から県民のみなさまへ >

いばらき文化振興財団は、各種の文化振興事業を行うことにより、個性豊かな県民文化の振興を図り、国際性豊かな文化の県づくりに寄与することを目的に設立されました。

文化芸術に接する機会の提供として良質な舞台芸術公演を行うほか、文化活動団体等への支援及び県民の文化活動の拠点施設としての「県民文化センター」の管理運営、茨城の海と自然・世界の海と地球環境を基本テーマとした「アクアワールド・大洗」の運営を行い、県民の皆様から親しまれる魅力ある施設をめざして運営にあっております。

県民文化センターにつきましては、平成18年度から指定管理者の指定を受け、事業面では、歌舞伎・クラシック音楽・オペラ公演など様々な舞台芸術を提供するとともに、古典芸能体験講座・音楽出前講座など参加型事業を行い、文化の担い手の育成に努めております。施設運営面では、貸館の予約受付及びチケット販売窓口を午後7時まで営業するなどサービス向上に努めております。

アクアワールド・大洗につきましては、「ペンギンのお散歩タイム(11/1~5/31)」や企画展「超新鮮シーフード大百科(1/30~5/9)」と題して食材になっている生物の紹介を行うなど、お客様に「見て、触れて、遊びながら楽しく学べる」展示の充実に努めております。

今後とも、県民文化センターとアクアワールド・大洗がお客様に快くご利用いただけますよう、施設の安全管理と事業展開に努めてまいります。所存でございますので、職員一同、皆様のお越しを心からお待ちしております。

平成22年2月 理事長 平山 恒夫

[経営状況] 財団法人いばらき文化振興財団 (単位:千円)

区分		平成18年度	平成19年度	平成20年度	増減数	増減理由
収支・正味財産の状況	事業活動収入	2,727,720	2,660,224	2,545,343	114,881	
	基本財産運用収入	11,530	11,514	11,514	0	
	事業収入	2,220,975	2,144,390	2,044,458	99,932	水族館・文化センター-自主事業等の減
	受託・補助金等収入	474,389	475,211	457,079	18,132	指定管理料・日本財団助成金等の減
	その他の収入	20,826	29,109	32,292	3,183	特定預金運用収入等の増
	事業活動支出	2,499,521	2,383,155	2,428,373	45,218	
	事業費	2,299,053	2,291,572	2,328,343	36,771	主に水族館の施設整備費の増等
	管理費	200,468	91,583	100,030	8,447	事務室の改修等による増
	うち役員人件費	19,118	19,074	19,490	416	
	うち職員人件費	833,476	827,859	831,527	3,668	
	事業活動収支差額	228,199	277,069	116,970	160,099	
	投資活動・財務活動収入	118,868	74,018	182,097	108,079	修繕のため積立金取崩の増
	投資活動・財務活動支出	933,222	344,956	291,188	53,768	積立金支出の減
	投資活動・財務活動に伴う収支差額	814,354	270,938	109,091	161,847	
	当期収支差額	586,155	6,131	7,879	1,748	
	一般正味財産増加額(正味財産増加額)	2,768,312	2,665,990	2,551,059	114,931	
	経常収益	2,728,312	2,661,265	2,546,531	114,734	水族館・文化センター-自主事業等の減
	経常外収益	40,000	4,725	4,528	197	助成事業積立金取崩の減
	一般正味財産減少額(正味財産減少額)	2,490,320	2,457,193	2,500,040	42,847	
	経常費用	2,452,238	2,456,560	2,499,846	43,286	主に水族館の施設整備費の増等
経常外費用	38,082	633	194	439	固定資産除却額の減	
一般正味財産増減額(正味財産増減額)	275,970	204,072	46,492	157,580		
指定正味財産増減額	2,022	4,725	4,527	198		
正味財産期末残高	2,420,101	2,624,173	2,670,665	46,492		
貸借対照表	資産合計	3,306,474	3,409,385	3,511,652	102,267	
	流動資産	577,469	427,562	424,127	3,435	
	固定資産	2,729,005	2,981,823	3,087,525	105,702	施設設備修繕等積立預金の増
	負債合計	886,373	785,212	840,987	55,775	
	流動負債	377,891	228,087	217,738	10,349	未払い金等の減
	うち短期借入金	0	0	0	0	
	固定負債	508,482	557,125	623,249	66,124	退職給付引当金及びリース負債の増
	うち長期借入金	0	0	0	0	
	正味財産合計	2,420,101	2,624,173	2,670,665	46,492	
	基本財産充当額	690,000	690,000	690,000	0	
県財政関与状況	補助金	97,352	95,951	98,190	2,239	財団運営費補助金(人件費)の増
	委託料	377,037	371,959	356,503	15,456	指定管理料・文化振興事業委託金等の減
	貸付金	0	0	0	0	
	その他(分担金・負担金・出捐金等)	0	0	2,300	2,300	新人演奏会負担金
	合計	474,389	467,910	456,993	10,917	
	財政的関与の割合(%)	17.39%	17.59%	17.86%	0.3	
	損失補償・債務保証契約に係る債務残高(期末)	0	0	0	0	
借入金残高(期末)	0	0	0	0		
合計	0	0	0	0		

主要経営指標	算式	平成18年度	平成19年度	平成20年度	増減P	備考
収益事業比率	収益事業費 / 当期総支出	25.6%	31.9%	29.9%	2.1	事業収入減に伴う減
管理費比率	管理費 / 当期支出合計	5.8%	3.4%	3.7%	0.3	事務室の改修等による増
人件費比率	人件費 / 事業活動支出	34.1%	35.5%	35.0%	0.5	支出増の結果人件費比率は低下
自己収入比率	自己収入 / 事業活動収入	93.6%	93.7%	93.7%	0.0	
流動比率	流動資産 / 流動負債	152.8%	187.5%	194.8%	7.3	
借入金比率	借入金残高 / 負債・正味財産合計	0.0%	0.0%	0.0%	0.0	

[組織]

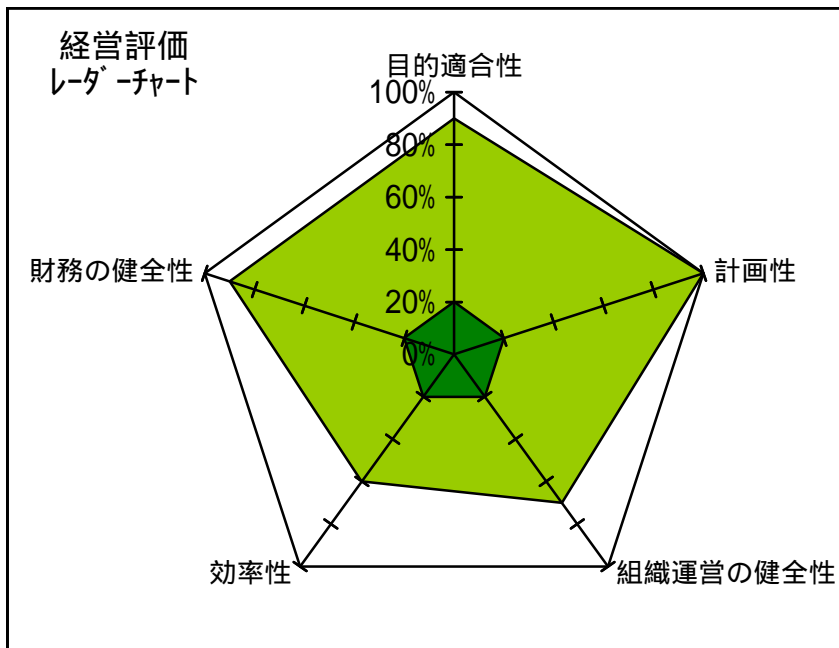
7月1日現在の人数		平成19年		平成20年		平成21年		増減数	増減理由		
		県派遣	県OB	県派遣	県OB	県派遣	県OB				
役員	常勤理事・監事	2	0	2	2	2	0	2	0	一般職 1=退職 2採用1	
	非常勤理事・監事	15	2	2	15	1	3	15	1	3	嘱託・臨職+4 = 職員代替1
	計	17	2	4	17	1	5	17	1	5	水族館看護師+1,経営企画
職員	管理職	24	1	0	25	1	0	25	2	0	課(療休代替)+1,育休代替(事務局+1)
	一般職	56	2	0	52	2	0	51	1	0	1
	嘱託・臨時職員等	83	2	0	88	2	0	92	2	0	4
	計	163	3	0	165	3	0	168	3	0	3
当期常勤職員の年齢構成		~20代	30代	40代	50代	~	合計	平均年齢	プロパー職員平均勤続年数		
		8	24	15	29		76	43.3 歳	20.8 年		

[評点集計]

評価の視点	評価項目数	評点	満点	得点率
目的適合性	11	18	20	90.0%
計画性	8	20	20	100.0%
組織運営健全性	9	14	20	70.0%
効率性	11	12	20	60.0%
財務健全性	10	18	20	90.0%
合計	49	82	100	82.0%

警戒指標

--



《評価の視点》

目的適合性	法人が行っている事業と当初の設立目的が適合しているか
計画性	経営目的、経営方針が各種計画に反映され、計画・実行・見直しが行われているか
組織運営健全性	組織、人事、財務等の内部管理体制が適切に整備・運用され、かつ情報公開による透明性の確保が適切か
効率性	組織の管理運営上における人的・物的な経営資源が有効活用されているか
財務健全性	法人の財務体質が健全であるか、また、各事業の採算性がとれているか

[法人の自己評価（経営概況、経営上の課題・対策等）]

目的適合性	計画性	組織運営健全性	効率性	財務健全性
個性豊かな県民文化の振興を図り国際性豊かな文化の県づくりに寄与するため文化振興事業、県民文化センター、大洗水族館の運営等を行っている。施設及び事業の入場者による事業効果・目標達成度の状況から、設立当初と同等の社会的要請があると考えられるので、今後も設立目的に沿った事業運営に努める。	第2期中期経営計画(19～23年度)を策定し、事業別に目標を掲げ運営にあたっており、概ね計画どおり推移している。(H20年度の目標達成度99.8%) 第2期中期経営計画の見直しについては社会情勢の変化や実体にあわせるなど、必要に応じて修正を加える。	事業内容及び予算・決算の状況など、各事業の広報とともにホームページ上で情報公開を行い透明性の確保に努めている。また、コンプライアンス経営の充実については、職員研修をはじめ、規程及びマニュアル等の整備を年度内に行う。	役職員数について、常勤職員数では前年度に対して嘱託・臨時職員が3名増となっているが、職員を嘱託職員等に振り替えることよって、人件費は昨年度とほぼ同額におさえている。引き続き職員等の適正配置を行い効率的な運営に努める。	3期連続黒字であり、健全性で当面の課題はないが、財団の経営は、全体予算の7割を占める水族館の運営状況に大きく左右されることから、今後も継続して安定した入場者を維持するため広報宣伝の拡充を図り、事業収入の確保に努めるとともに効率的な運営に努める。
<p>今後の事業展開の方向</p> <p>財団の平成21年度予算規模は、文化振興事業339,947千円、文化センター事業468,113千円、水族館事業2,060,746千円、合計2,868,806千円である。水族館事業の予算規模は財団全体の約70%を占めるため、水族館の運営が財団全体の経営を左右するため、いかに水族館の入場者を確保するかが課題である。このため、SNS等を活用した積極的な広報宣伝を行うとともに、北関東自動車道開通に伴う沿線地域を重点的に宣伝活動を展開するほか、閑散期対策や移動水族館等によるPR活動を行い誘客促進に努め、長期的、安定的な経営を目指すものとする。また、文化芸術に接する機会の提供として実施する公演事業や利用者の利便を図るため実施する県民文化センター自主事業については、収支均衡を保つ運営に努めるほか、指定管理を受けた県民文化センターの運営については、利用者の要望を踏まえ一層のサービス向上に努める。</p>				

[法人担当課の意見]

目的適合性	計画性	組織運営健全性	効率性	財務健全性
本県の文化振興等に寄与しており、設立目的と適合している。また、県民が文化に触れる機会を増やすために、入場料金等を低価格で提供しており公益法人としての役割を果たしていると考え。	財務・業績目標の設定がある中期経営計画を策定し、これに基づいた経営が出来ており、定期的な見直し・進捗状況の検証も適正に行われている。	昨年度なかった危機管理マニュアルを整備したことは評価できる。引き続き、コンプライアンス経営への取組に、財団とともに取り組んでいきたい。	自己収入の比率が昨年度より若干下がったことにより評価を下げた。引き続き収入の確保及び人件費の抑制に努め、さらに効率性を高めるようにしていきたい。	3期連続の黒字であり、健全性には問題ないが、キャッシュフローの状況が昨年度より大幅に改善したとはいえ、マイナスとなっているので引き続き改善に努めていきたい。
<p>法人担当課の意見</p> <p>水族館については、入場者数が昨年引き続き全国7位の実績であり、「パンゴンお散歩」や「自然観察会」「移動水族館」など積極的な事業運営の結果として評価できる。県民文化センターについても古い施設でありながら平均利用率約80%と高水準を維持しており、文化振興事業においても鑑賞事業のほか普及・育成事業に力を注いでいる。今後、中期経営計画を適切に進行管理するとともに、コンプライアンス経営等の取組を進め、本県の文化芸術活動の要となれるように指導していく。</p>				

[経営目標]

区分	指標名	単位	H18実績	H19実績	H20 目標値	H20実績	達成度(%)	H21目標値	
経営目標	事業成果	1 1公演当たりの入場率	%	75.6	84.6	80.0	88.6	100.0%	80
		2 水族館の入場者	千人	1,218	1,178	1,100	1,112	100.0%	1,130
	健全性	1 流動比率	%	421	187	187	195	100.0%	195
		2 自己資本比率	%	74	77	77	76.1	98.8%	77
	効率性	1 職員1人当たりの事業収入	千円	13,916	13,091	12,186	12,406	100.0%	12,000
		2 職員1人当たりの当期正味財産増減額	千円	1,729	1,247	284	302	100.0%	262
平均目標達成度							99.8%		

[総合評価]

取組みを強化すべき視点	目的適合性	計画性	組織運営健全性	効率性	財務健全性
	概ね良好	改善の余地あり	改善措置が必要	緊急の改善措置が必要	
総合的所見等	<p>大洗水族館の総入館数は約110万人(対前年比 6%)と昨年に引き続き減少している。開館8年目を迎え、施設や展示品のリニューアル、北関東自動車道の東北自動車道接続(平成20年12月)に伴う沿線地域へのPR活動等の新たな入館者確保対策が必要である。</p> <p>施設設備修繕等積立預金については、施設所有者である県が大規模改修を行うとの原則に基づき積立預金のあり方について再整理すべきである。</p> <p>新公益法人等への移行申請手続きを計画的に進められたい。</p>				
総合的所見等に係る対応	<p>大洗水族館については、栃木県全世帯への割引クーポンの配付等の新たな取組みを始めるとともに、茨城空港利用者を対象としたPR活動を実施する等、引き続き入館者確保策を推進する。</p> <p>施設設備修繕等積立預金については、法人が行う小規模修繕や事業運営に必要な経費を踏まえ、積立預金のあり方等を整理する。</p> <p>新公益法人等への移行申請手続きについては、必要な情報を収集し早期対応を指導していく。</p>				